

長期ビジョンに関する「大学生ワークショップ」 開催レポート

大学生ワークショップについて

本市には多くの大学が立地し、様々な能力ややる気をもった学生が暮らしています。これらの学生のパワーを八王子市のまちづくりに活かし、八王子市の長期ビジョンの基礎資料とするため、学生が考える八王子市のありたい姿や、そのために必要なことを話し合う大学生ワークショップを開催しました。

開催日時・開催方法

本来であれば対面での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンラインでの開催となりました。大学コンソーシアム八王子を通じて参加者を募集し、自宅から、1人1台の端末を通じて集まりました。意見の可視化や分類等には、インターネット上で共同編集できる場所を設け、共通の画面を見ながら意見交換を行いました。

	開催日時	開催方法
第1回	令和2年10月11日(日) 13:00~15:30	・オンライン(Zoom)によるグループ討議 ・ワークにはGoogleスライドを使用
第2回	令和2年11月29日(日) 13:00~15:30	・オンライン(Zoom)によるグループ討議 ・ワークにはGoogleスライドを使用

参加者とグループ構成

ワークショップは合計6大学21名の大学生に参加いただき、全2回行いました。グループワークは5~6名ずつの4グループに分かれて行いました。

	第1回	第2回
グループ 構成と参 加者数	A 6名(男性2名、女性4名)	A 2名(男性1名、女性1名)
	B 5名(男性2名、女性3名)	B 3名(男性1名、女性2名)
	C 5名(男性1名、女性4名)	C 4名(男性1名、女性3名)
	D 5名(男性2名、女性3名)	D 4名(男性2名、女性2名)
	合計21名(男性7名、女性14名)	合計13名(男性5名、女性8名)

参加大学・・・中央大学、帝京大学、東京造形大学、東京家政学院大学、多摩大学、創価大学

全体の流れ



ワークショップ全 2 回の事前課題とゴールイメージ

第 1 回	事前課題	私(大学生)のわくわくワークシート <ul style="list-style-type: none"> ・八王子市内を舞台として、自分が思う「楽しく充実した理想の大学生活」を思い描く なりきりわくわくワークシート <ul style="list-style-type: none"> ・八王子市に暮らす人物像を設定して、その人物になったつもりで、「八王子市での楽しく充実した理想の暮らし」を思い描く
	ゴールイメージ	大学生の視点から、様々な世代が楽しく充実して暮らせるような八王子市の未来のありたい姿について、キーワードを抽出する
第 2 回	事前課題	未来のありたい姿に近づくために必要なことを考えるワークシート <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回で検討したテーマ・キーワードに基づいて、それを実現するために、できていないこと、変えたいこと、新しくやること、環境が整うとよいことを書き出す
	ゴールイメージ	理想の実現に向けた課題を踏まえ、八王子市の未来のありたい姿とそのために必要なことを明らかにする



ワークショップでの検討結果

A グループ

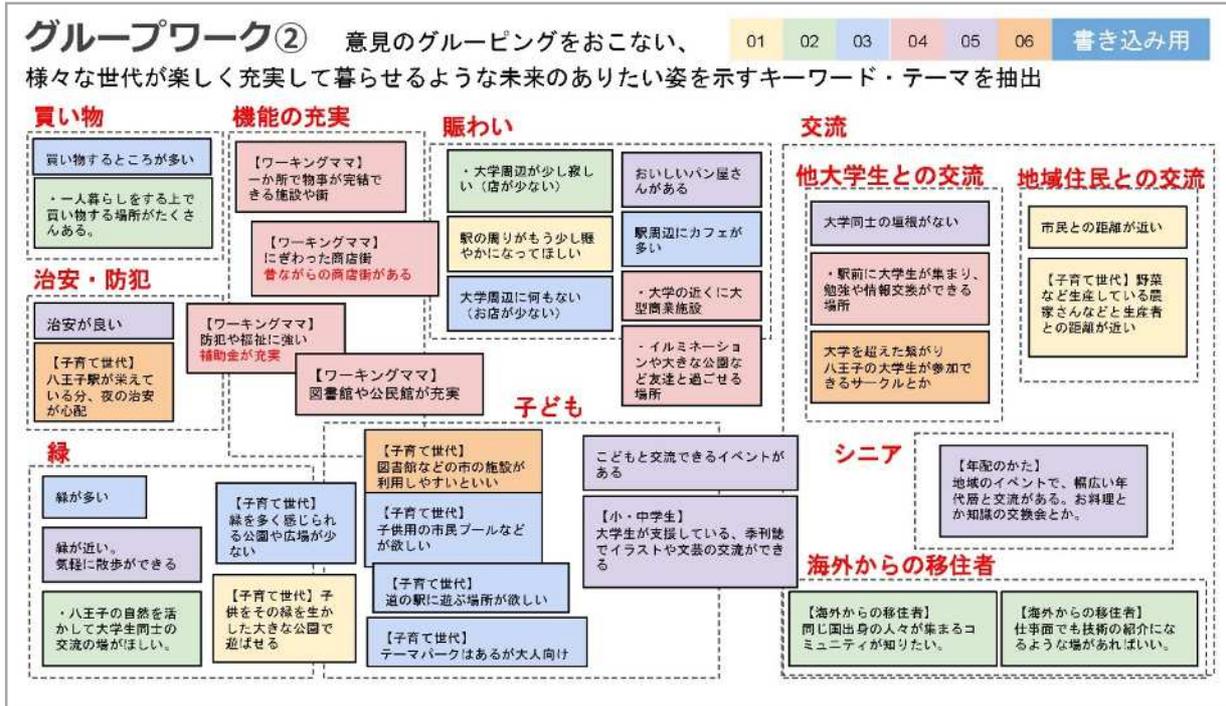
【第1回】 八王子市の未来のありたい姿(キーワード・テーマ)

検討内容	主な意見
ワーク - 1 楽しく充実した理想の 大学生生活のイメージ	[交流]・大学が住宅地にあることから、地域住民との距離の近さを活かす・駅前に大学生が集まり勉強や情報交換できる場所がある・大学生同士の交流がある [緑]・日常の中にくつろげる緑があり、気軽に散歩ができる・自然を活かした交流 [賑わい]・大学周辺に賑わいがある・イルミネーションや大きな公園など友達と過ごせる場所がある・カフェやパン屋など美味しい店がある
ワーク - 2 人物像を設定して、そ の人物が楽しく豊かに 暮らせるイメージ	[子育て世代]・子どもが伸び伸び遊べる、緑の多い公園や広場がある・生産者との交流があり、安心できる野菜が手に入る・図書館など施設が充実している・道の駅などに子どもの遊べるコーナーがある [ワーキングママ]・1 か所で物事が完結できる施設がある・賑わった商店街がある・防犯や福祉に強く、補助などが充実・図書館や公民館が充実 [海外からの移住者]・同じ国出身の人々が集まるコミュニティがある・技術を紹介できる場がある [シニア]・リタイアしたシニアが地域で活躍できる場がある(料理とか知識の交換)
ワーク 様々な世代が楽しく豊 かに暮らすために大切 にしたいこと	交流・・・他大学生との交流(大学を超えた繋がり、駅前に大学生が集まり勉強や情報交換ができる場所)、地域住民との交流(消費者と生産者、子どもやシニアなど異世代の交流)、海外移住者との交流(外国人の方も住みやすい、地域の人と繋がる機会) 賑わい・・・大学の周辺の賑わい、友達と過ごせる場所、買い物できる場所

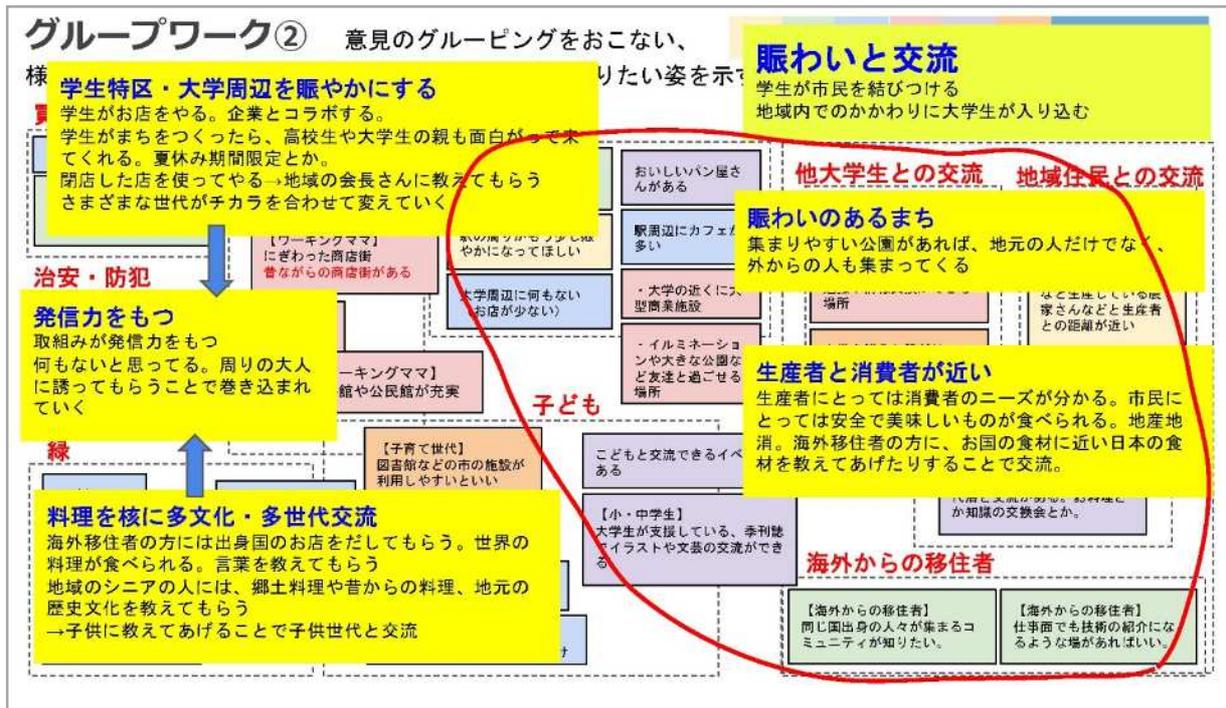
ありたい姿(キーワード・テーマ)

賑わいと交流のあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・大学周辺に店が少ないので、学生が企業とコラボしてお店を出すなど、学生主体のまちをつくることができれば面白い ・学生主体のまちには、高校生も来てくれそう ・空き店舗の情報など、地域の自治会長さんなどから教えてもらい、地域の人力を借りてやってみたい ・地域の活動に学生が入り込み、学生が市民を結びつける役割を担い、賑わいを創出する
生産者と消費者の近さを活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子は農業が盛んで、生産者と消費者が近いことが特徴。消費者と近いことによって、生産者にとっては消費者のニーズが分かり、消費者にとっては安全で美味しいものが食べられるという良さがある。地産地消を推進していく ・農産物を通じて、様々な交流ができる。海外からの移住者に、八王子の農産物を使って、出身国の料理をつくってもらい、地域のシニアに郷土料理や昔ながらの料理をつくってもらい子どもに教えるなど、料理を核に多文化・多世代交流ができる
発信力を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による取組自体が発信力をもつ。情報発信は学生が得意とする部分であり、学生が仕掛け、学生が発信していく

[意見のグルーピング]



[意見の集約]



【第2回】 未来のありたい姿の再検討と、その姿に近づくために必要なこと

ありたい姿の キーワード・テーマ	その姿に近づくために必要なこと 主な意見
賑わいと交流のあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と一緒に楽しむ(農業体験・食・イベント) ・地域の人材や資源に関する情報を集め、連携して、地域での取組を増やす ・伝統行事の継承に役立つよう、準備の段階から動画で記録し、発信する ・地域の高齢者や子ども、子育てママなど、様々な立場の人と気軽に話せる機会を増やす。それぞれの立場のニーズを知ることで、必要な取組を考える
生産者と消費者の近さを活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と一緒に開発する(名物料理、商品紹介、パッケージデザイン等) ・学生が商品開発に携わることで、新しい魅力や価値を創出する ・外国人に食べてもらうことで、PRにもつなげる ・たくさん広がる畑を活用し、農家の人に教わる農業体験 ・東京都唯一の道の駅の活用
発信力を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・住民と一緒に地域の魅力探しを行い、発信を手伝う。八王子の魅力をクリック形式にするなど、楽しめる発信ができる ・地域の情報を集め、インターネットで共有する。yahoo 知恵袋の地域版のようなものがあると、困っている人を助けてあげることができる。学生はサイト開設・運営などを手伝うことができる

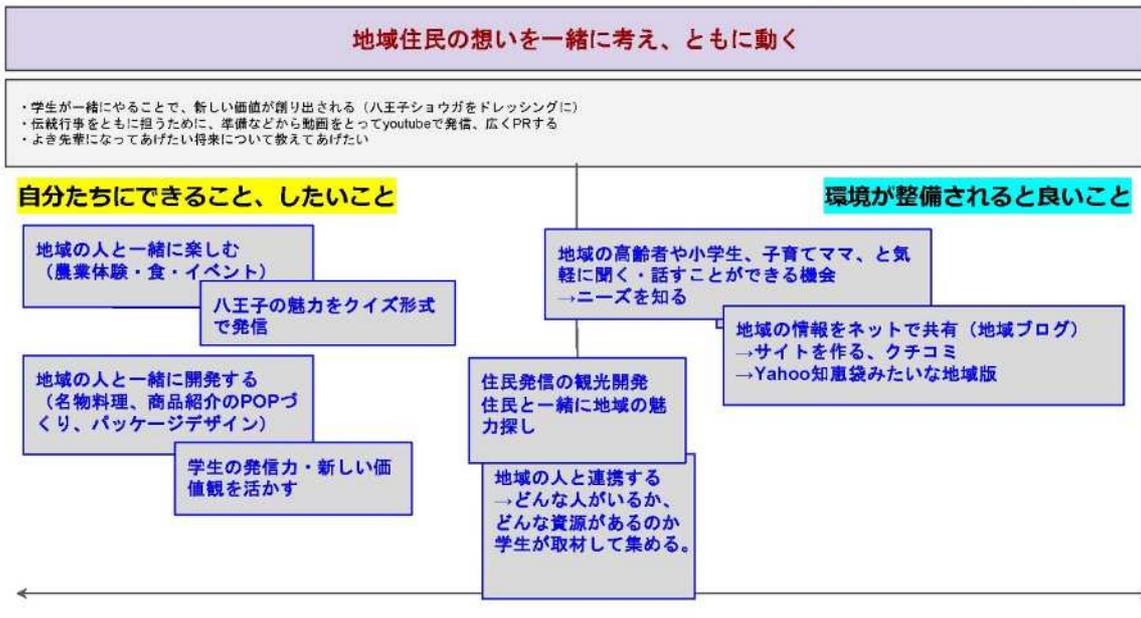
ありたい姿

地域住民の想いを一緒に考え、ともに動く

八王子は都内でも農業が盛んであり、生産者が身近にいることが強み。大学のゼミで、八王子ショウガの商品開発に取り組み、現代の食スタイルに合わせたドレッシングを提案して喜ばれた経験から、学生と一緒に商品開発に関わることで、新しい魅力や価値を創り出すことができると考えている。また、八王子城に興味をもち、自分たちで調べた経験から、地域の人々が当たり前すぎて気づかない魅力を一緒に楽しみながら発見し、発信を手伝うことができると考えている。総じて、地域住民とともに、地域課題の解決や地域資源の活用、魅力発信に取り組んでいきたい姿勢が強く感じられた。

ワーク② 未来のありたい姿の再検討、そのために必要なこと(課題)の整理

01 02 03 04 05 06 書込用



B グループ

【第1回】 八王子市の未来のありたい姿(キーワード・テーマ)

検討内容	主な意見
ワーク - 1 楽しく充実した理想の 大学生活のイメージ	<p>【知識が得られる場所などの充実】 サロンで知識を深めたり交流したりできる。サークル活動ができる体育施設や、図書館などが増える。 【地域に関わる機会が増える】 地域の人と交流できて課題もできるカフェなどがある。地域の人からこんな事に協力してほしいというテーマの投げかけがある。学生主催で地域イベントを開催する。 地域の人が利用する食堂などで働くことができる。 【他大学との交流の機会が増える】 様々な大学と交流できる。他大学と交流できるキャンプ場などの場がある。 【学生が一人でも暮らしやすい環境】 一人暮らししやすい環境である。防犯面で安心できる。</p>
ワーク - 2 人物像を設定して、そ の人物が楽しく豊かに 暮らせるイメージ	<p>【子ども、親子】 親子で遊べる公園や遊歩道がある。自然や生き物と触れ合える場所・機会がある。 1日楽しめる商業施設などがある。 【一人暮らしの若者】 結婚の出会いの場がある。買い物できるところが多い。女性が安全に暮らせる。 【親世代、シニア世代】 雨でも買い物できるアーケード街がある。きれいに保たれた公園がある。地域で買い物しやすい地域通貨や子育て世代向けの奨学金があり、地元への愛着が増す。</p>
ワーク 様々な世代が楽しく豊 かに暮らすために大切 にしたいこと	<p>自然が豊か・・・公園や山が多く自然が豊かなのが八王子市の強みであり、将来も自然を守りたい。山などの自然のなかでは、挨拶がしやすく交流につながる。 出会い交流の場・・・学園都市としての学生と地域や大学間の交流を促進する。市内で出会い結婚すると若者が定着する。 地域経済の循環・・・にぎわいや交流が生まれる施設が充実しており、買い物しやすいアーケードや交通が整備されている。そのためには、「地域で働いて、地域で暮らす」人が増えることが重要。それによって、地域で買い物などをして地域経済が活性化し、施設の充実やインフラ整備につながる。将来的には、買い物や学校への送迎が自動運転でできるようになり、交通インフラが拡充するとよい。</p>

ありたい姿(キーワード・テーマ)

自然が豊かな街	・自然の豊かな環境のなかで、人々が交流する街
「地域で働いて、地域で暮らす」街	<p>・地域に働く場があり、暮らしやすい街 ・地域にいる時間が長く、地域でお金を使うことによって、地元愛が生まれ、地域経済も好循環する。多くの人が働き暮らすことで、にぎわいや交流の機会も増え、交通インフラや施設も充実し、住みよい街になる。</p>

[意見のグルーピング]

グループワーク①

01 02 03 04 05 書き込み用

1-2 人物像を設定して、その世代が楽しく充実して暮らせるイメージを意見交換

知識が得られる場所などの充実

- 自分の知識が深められるサロンや交流が欲しい
- 図書館をもっと増やしてほしい
- サークル活動ができる体育施設の充実

地域に関わる機会が増える

- 自発的に行動しやすい環境、お題提供
- 課題ができるようなカフェがある
- 学生主催のイベント

地域で働く

- 学生の給料でも利用しやすい食堂や施設
- ↑で大学生をアルバイトとして雇い安定した給料を出す

学生が一人でも暮らしやすい環境

- 1人暮らししやすいような施設が充実している(スーパー等)
- 1人暮らしでも安心できる(防犯面)
- 詳細な身体検査機関がほしい(細菌等)

他大学との交流の機会が増える

- 学園都市なので他大学と交流できるような場所がある
- 自然を生かした環境でキャンプ等の交流活動
- 色々な大学と交流ができたら楽しい

[意見の集約]

グループワーク②

意見のグルーピングをおこない、様々な世代が楽しく充実して暮らせるような未来のありたい姿を示すキーワード・テーマを抽出

印刷用

【子ども】 公園はたくさんあるので、八王子の広い土地を生かした動物園や水族館など生き物と触れ合える場所がほしい

【子連れ親子】 子供と遊びに行ける公園がある(できればボールも使える)

【子連れ親子】 自然と触れ合える機会が欲しい

【親世代】 公園をきれいに保つ

公園等にもっと魅力があるといい
→山登り中など自然の中だと話しやすい
→コミュニティづくりにもつながる

自然(公園)が豊か

- ・自然が豊かなのが、八王子の強み(将来も自然を守りつづけたい)

【一人暮らし20~30代】 結婚を支援する動きがあったらいいかも

地域に関わる機会が増える **地域で働く** **出会い交流の場**

他大学との交流の機会が増える **コミュニティが作りやすい**

色々な大学と交流ができたら楽しい(例: 学生天国)

→ちよūdい田舎、暮らしやすい

↑

- ・地域経済が活性化すると交流にもつながる
- ・地域で働いて、地域で暮らす(具体策=企業誘致等)

【一人暮らし20~30代】 日用品が買える場所がたくさんある&安い

【子ども】 テーマパーク 子供が一日中楽しめる場所

【子連れ親子】 大きな商業施設がほしい

知識が得られる場所など施設の充実

駅前が充実しているが、他のエリアにもぎわいが広がるとよい

地域経済循環(施設の充実)

例: バス自動運転で買い物、学校送迎

【一人暮らし20~30代】 一人暮らしにおいて安全面での問題

学生が一人でも暮らしやすい周辺環境

【親世代】 奨学金、子ども保険や、地域通貨の普及 →地元愛につながる

【シニア世代】 暮らしの動線にアーケード街のような屋根がほしい

【シニア世代】 自転車と余裕を持ってすれ違える道幅

【第2回】 未来のありたい姿の再検討と、その姿に近づくために必要なこと

ありたい姿の キーワード・テーマ	その姿に近づくために必要なこと 主な意見
地域で働いて 地域で暮らす	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の企業や商店を盛り上げる地域広告などを作成し、話題性アップや地域経済の活性化を図る ・近未来の IT 技術を活用して街のつながりを強く、住みやすくする (例:トヨタ自動車のプロジェクト) ・リモートワークが増えるなか、通勤せず、地元で仕事しやすい環境づくりをする ・都心にはない人の良さ、商店街のおじちゃん・おばちゃんなどの地域のあたたかさをPR・活用する ・八王子市内で生産された野菜などを活用した地産地消のビジネスモデルをつくる
自然が豊かな街	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子の魅力の発信を拡充する ・高尾山などの自然を活用して食事・宿泊・観光行動といった宿泊観光の促進や、MICE にも取り組み、市外からの経済効果を高める ・自然を活かした住みやすい環境づくり
八王子の食を市内 外の人に広めたい	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅で販売されている市内で生産された野菜等を活用し、「食」を通じて八王子の魅力を生市内外に広める ・学園都市で学生が多いため、SNS に慣れている学生が写真などで発信し、市内外の若者に野菜の良さなどを知ってもらう ・例えば、八王子市内の企業や学校で市内産の食品を使った弁当でアピールする

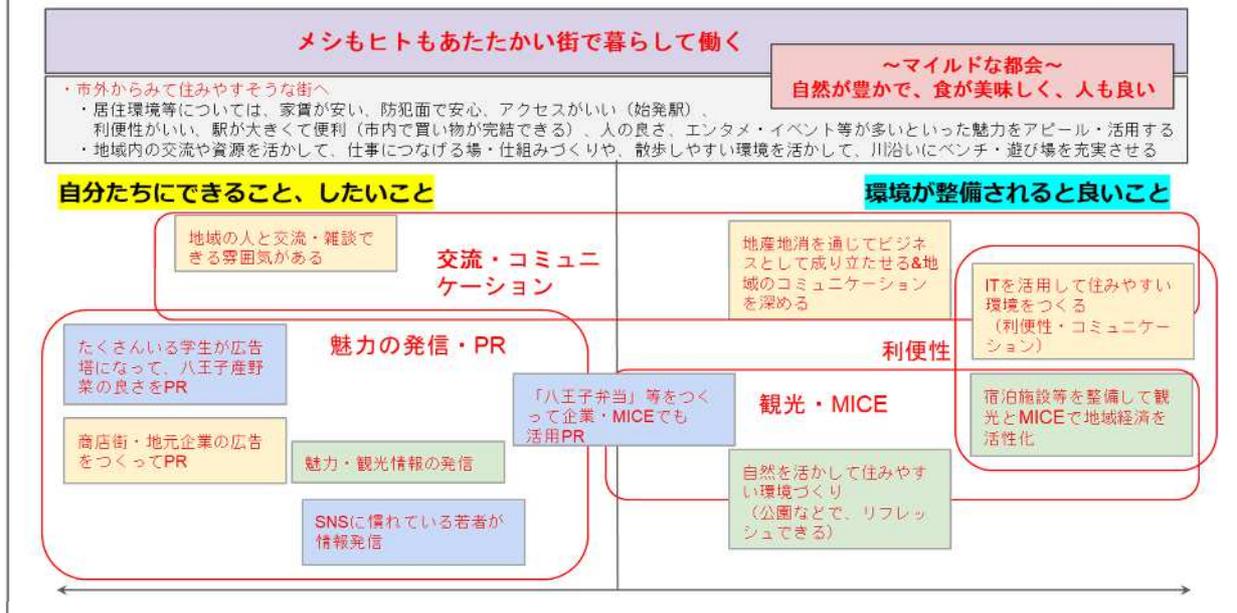
ありたい姿

メシもヒトもあたたかい街で暮らして働く

市外在住の参加者は、コロナ禍で都心にはリスクを感じ、程よい都会である八王子に魅力を感じるとのことだったため、市外からみた八王子の魅力洗い出し、それらを活かす取組について検討した。その結果、自然が豊かで、食も美味しく、人も良い、程よい都会(マイルドな都会)である八王子の魅力を活かし、より住みやすい街になるよう、PRや資源活用等に取り組むべきという結論となった。具体的には「八王子市の魅力(自然、食、ヒト)の発信・PR」市内を中心に「交流・コミュニケーションを活性化」して、地域コミュニティづくりや地域ビジネスモデルづくりにつなげる「観光・MICEの取組」として自然を活かした環境・施設整備と市外からの来訪・消費の拡大を図り IT 技術を活用して住みよさや観光の「利便性」を向上」といった意見がでた。

ワーク② 未来のありたい姿の再検討、そのために必要なこと(課題)の整理

01 02 03 05 書込用



C グループ

【第1回】 八王子市の未来のありたい姿(キーワード・テーマ)

検討内容	主な意見
ワーク - 1 楽しく充実した理想の 大学生活のイメージ	八王子は自然と都会がある場所(都会のすぐそばにある自然) うまく活用したい ・八王子の自然と都会が共存している特徴を活かした学習環境がある ・自然の中に設置された特別な空間でリモート授業が受けられる ・大学生限定・特典があるカフェ 学校後、休憩しながら勉強できる空間がある 地域とつながる ・大学の授業の中で、実際にフィールドワークなどをしながら学ぶ機会がある ・学生自身が積極的に企業や地域の組織に入っていけるような仕組みがある 市民とノウハウを共有し合う(学んだことを実践・還元) ・座学を実践として行動できる町 市民と学生が認め合う、歩み寄る ・学生も地域市民の一員として積極的に社会活動に参画できる町 支援できる体制をつくる・地域で活かす
ワーク - 2 人物像を設定して、そ の人物が楽しく豊かに 暮らせるイメージ	八王子の豊かな自然を活かす ・[子育て世代]八王子の自然を活かした、動物との触れ合い体験ができる場所がある(動物カフェでもOK) エサは八王子産の野菜を極力使用 ・[子供(中学～高校辺り)]八王子の自然と触れ合うことができる体験によって、その年代特有の悩み解消に繋げる 支援や支えがほしい(つくる) 個々のゆとりにつながる ・[子供がいるお母さん]ベビーカーや自転車などの置き場や貸し出しが充実していたり、急用ができて対応や相談してくれたりする地域 八王子市で過ごす(暮らす)ことがステータス ・[子どもたち]学校や学童の課外活動や社会科見学などで、八王子で楽しく過せるイベントや施設を用意し、そこに学びに行く。そこで学んだことを、人間形成の段階で役立てることができるような体験を用意する。 ・[働く人]八王子市で働いていることが誇れるようにブランド化 ex)丸の内 OL リモートワークが進んでいて都心に行きづらい中でのシゴトをサポート
ワーク 様々な世代が楽しく豊 かに暮らすために大切 にしたいこと	学びを深める・活かす 八王子の特性「自然と都会が融合した場所」を生かした課題解決:都会と自然の活用、「八王子」をブランド化、学びを深める場づくり、自然とのふれあい、自然を活かす、自然と提携したエンターテインメントの考案 学生と地域の連携:学生も地域社会の一員。大学生の地域活動への参画、地域住民・学生間でのノウハウの共有、地域住民と学生の学び合いによるアイデアの実現 仕事と育児の両立:地域全体で支えてくれるまち、仕事のサポート、徹底した支援、地域内コミュニティの充実

ありたい姿(キーワード・テーマ)

安心・安全&息抜きの居場所がほしい	・地域住民が安心できる場所が必要。自然を活かした場所 八王子の特性を活かせる 将来は「八王子で暮らす」をブランド化。
アイデアを活用した相互支援	・学生も地域・社会の一員。地域と学生で連携して、お互いに学び合うことによってアイデアを生み出し、市民の暮らしをサポート。
学びの活用と深化	・学生だけではなく地域の人とも学び合う機会をつくる。市民の学びの場をつくり、学びを深め、学びを活かす場をつくる。
大学生も地域参画してコミュニティの一員になりたい 自然と提携したエンターテインメントの考案など	・大学生の地域活動への参画、地域市民・学生間でのノウハウの共有、様々な体験ができる空間づくりなどによって、地域内のコミュニティを充実させる。

[意見のグルーピング]

グループワーク② 意見のグルーピングをおこない、 01 02 03 04 05 書き込み用

様々な世代が楽しく充実して暮らせるような未来のありたい姿を示すキーワード・テーマを抽出

都会と自然	自然を活かす	学生と地域の連携	大学生の地域活動への参画	仕事と育児が両立出来る施設
学びを活かす	学生も地域・社会の一員	自然と都会が融合した場所	地域市民・学生間でのノウハウの共有	自然と提携したエンターテインメントの考案
地域内でのコミュニティ	非日常？息抜きみたいな	安心できる場所	自然	学園都市
八王子をブランド化		学びの場	シゴトのサポート	地域住民と学生の学びによるアイデアの実現
徹底された支援		地域全体で支えてくれるまち	"八王子で暮らす"をブランド化	
空間体験づくり				
学びを深める				
自然とのふれあいで課題解決				
八王子の特性を活かして課題解決				

【ダイアログでのキーワード整理】

- 自然と都会がある場所
→うまく活用したい
- 地域とつながる
- 市民とノウハウを共有し合う
(学んだことを実践・還元)
- 支援できる体制をつくる・地域で活かす

【ダイアログでのキーワード整理】

- 八王子の豊かな自然を活かす
- 支援や支えがほしい(つくる)
→個々のゆとりにつながる
- 八王子市で過ごす(暮らす)ことがステータス

[意見の集約]

グループワーク② 意見のグルーピングをおこない、 01 02 03 04 05 書き込み用

様々な世代が楽しく充実して暮らせるような未来のありたい姿を示すキーワード・テーマを抽出

個人で 認め合う ことから始まる

楽しみ重視

現実重視 安心・安全&息抜きの居場所がほしい

みんなで アイデア活用した支援のしあい

八王子の特徴 色々なシーンで活用できそう

point

自然と提携したエンターテインメントの考案

大学生も地域参画してコミュニティの一員になりたい

大学生の地域活動への参画

地域市民・学生間でのノウハウの共有

地域内でのコミュニティ

空間体験づくり

学びを活かす

学びを深める

学びの場

学園都市

学生だけではなく地域の人も学び合う

学生も地域・社会の一員

学生と地域の連携

地域全体で支えてくれるまち

徹底された支援

仕事と育児が両立出来る施設

地域住民と学生の学びによるアイデアの実現

自然とのふれあいで課題解決

八王子の特性を活かして課題解決

安心できる場所

自然を活かす

シゴトのサポート

自然と提携したエンターテインメントの考案

学びを 活用と深化したい!

タイミング・機会をつくる。例えば、WS、ターゲットを決めて機会創出など

【第2回】 未来のありたい姿の再検討と、その姿に近づくために必要なこと

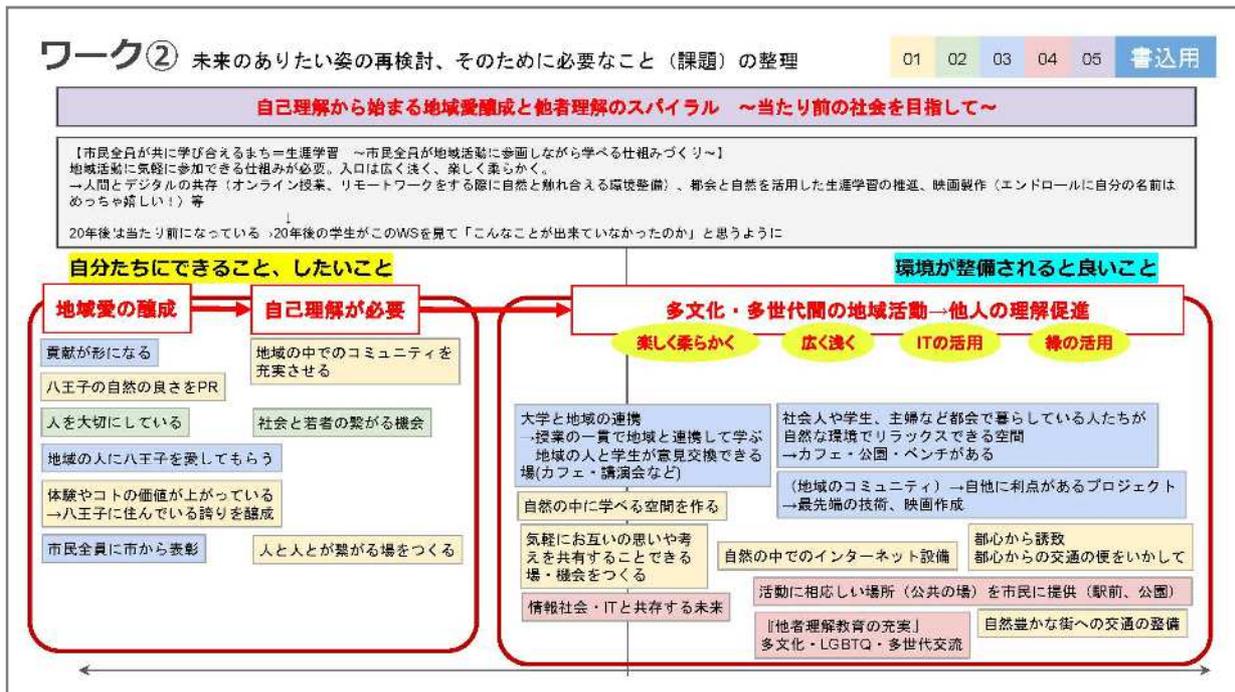
ありたい姿の キーワード・テーマ	その姿に近づくために必要なこと 主な意見
都会と自然が共存している特徴を活かしたイベント施設や体験の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな未来がやってくる？ リアルとバーチャルの融合が進んだ柔軟な社会、教育のデジタル化。いつでもどこでも学べるように。 ・様々な体験を共有できる場づくり。 ・緑の減少と公園の配置について再検討が必要。
安心・安全&息抜きの居場所がほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスを感じている人が増加している。 ・今の豊かな自然を維持 緑が心を落ち着かせる
自然と都会が共存したみんなで創り上げていくまち	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子市の人口の変化 人口減少・高齢化・働き手不足、コミュニティの支え不足 ・人口減少・少子高齢化による影響 地域の活性化不足、管理費用の負担増大
市民全員が共に学び合えるまち = 生涯学習 -市民全員が地域活動に参画しながら学べる仕組みづくり-	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子市内のふれあい いきいきサロン約120団体・大学コンソーシアム八王子加盟校数25校11万人。これらが交流できるような場づくり ・大学コンソーシアム八王子ニーズ調査 1位:「産学公連携事業に関する取り組み」(38.5%) 地域や企業の課題や取組事例を共有できる仕組みづくり ・「社会活動に参加している人は幸福度が高い」(第一生命経済研究所「ライフデザイン白書」,2020) 八王子の現状として多くの市民は、生涯学習・社会活動に取り組んでいるが、30歳~64歳までの世代では、取り組んでいない人の割合が高い。

ありたい姿

自己理解から始まる地域愛醸成と他者理解のスパイラル
~ 当たり前前の社会を目指して ~

【市民全員が共に学び合えるまち = 生涯学習 ~ 市民全員が地域活動に参画しながら学べる仕組みづくり~】
地域活動に気軽に参加できる仕組みが必要。入口は広く浅く、楽しく柔らかく。
人間とデジタルの共存(オンライン授業、リモートワークをする際に自然と触れ合える環境整備)、都会と自然を活用した生涯学習の推進、映画製作(エンドロールに自分の名前はめっちゃ嬉しい!)等

20年後は当たり前になっている 20年後の学生がこのWSを見て「こんなことが出来ていなかったのか」と思うように



D グループ

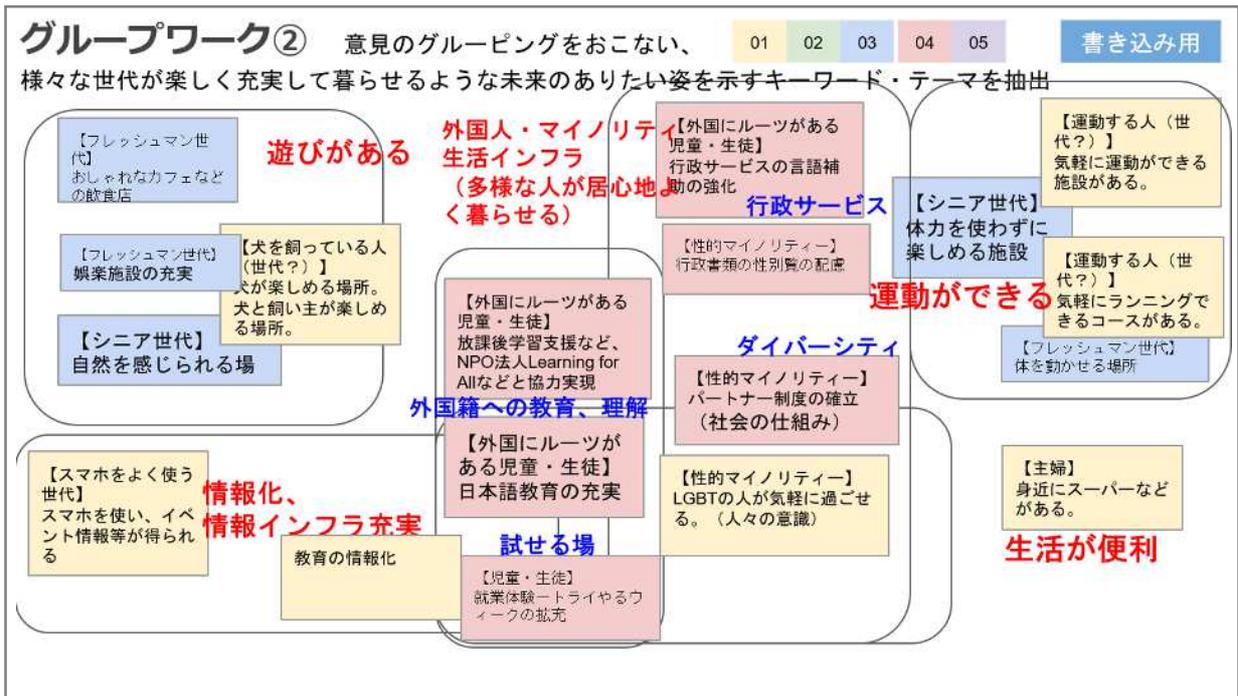
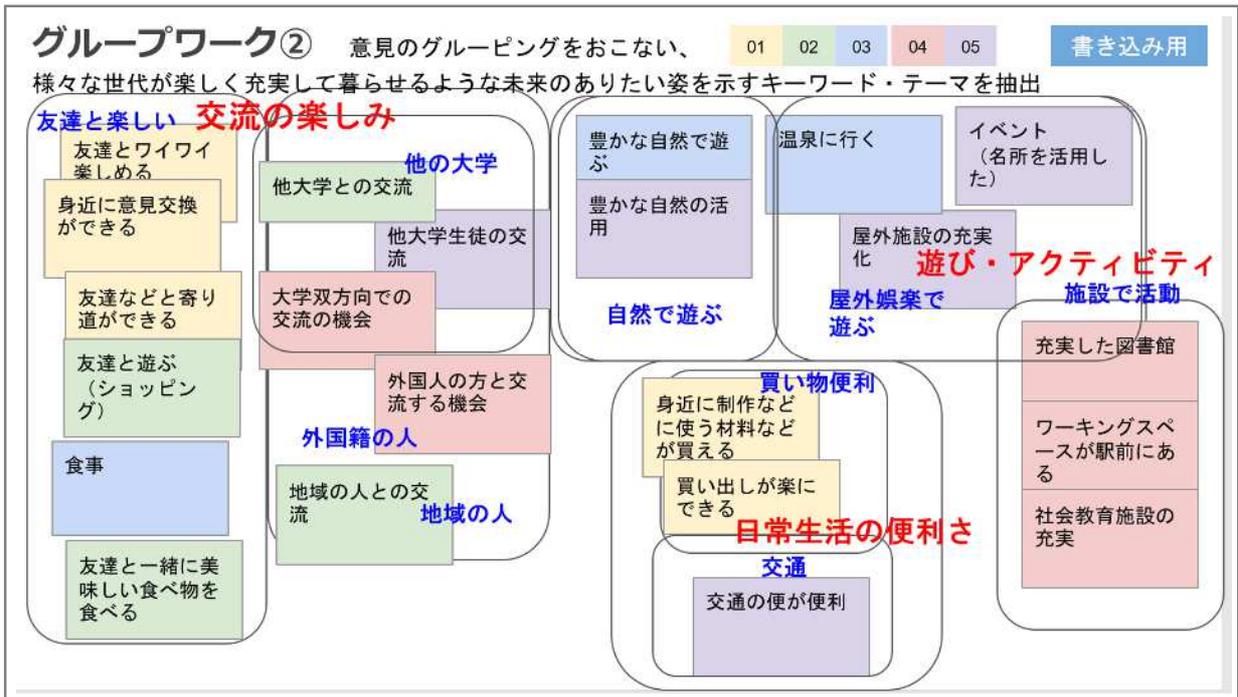
【第1回】 八王子市の未来のありたい姿(キーワード・テーマ)

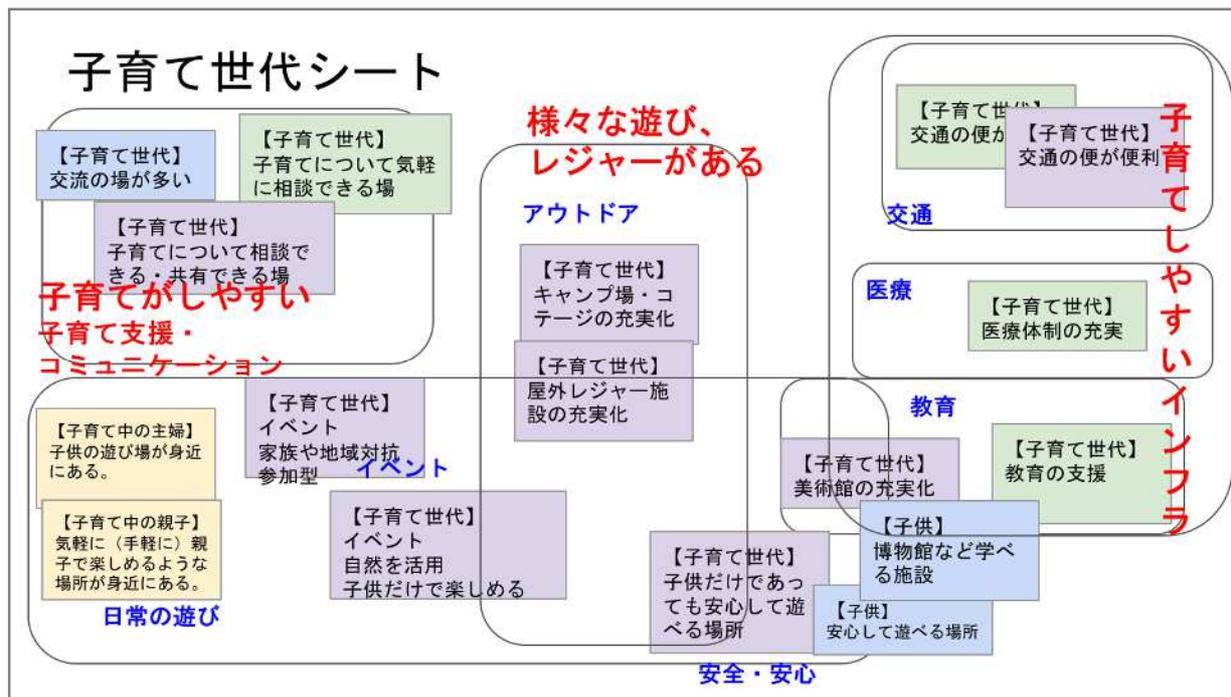
検討内容	主な意見
ワーク - 1 楽しく充実した理想の 大学生活のイメージ	【交流できる】 ・他の学校との交流ができる ・外国人の人と交流できる 【遊べる・活動できる】 ・友達とショッピングや飲食 ・図書館やワーキングスペース、社会施設の充実 ・自然や名所を活用する 【便利】 ・交通が便利 ・買い物が便利
ワーク - 2 人物像を設定して、そ の人物が楽しく豊かに 暮らせるイメージ	【子育て世代】 ・子供を安心して遊ばせられる場、施設、自然、催しがある ・医療、教育といった子育てしやすい環境がある ・交流や子育て相談などができる場がある 【マイノリティ】 ・外国籍の児童・生徒への学習などの支援 ・性的マイノリティへの社会制度、生活環境づくり 【その他】 ・シニアの居場所、気軽に運動できる施設
ワーク 様々な世代が楽しく豊 かに暮らすために大切 にしたいこと	遊びがある ...様々な年代に応じた遊び場、安全・安心、自然活用 誰でも居心地よく暮らせる ...外国籍等への制度、学習支援等のソフト充実 運動ができる ...日常に気軽に運動できる場 情報インフラの充実 ...必要な情報が必要な時に得られる、活用できる 子育てインフラ、支援 ...安全な環境、子育ての制度面、ソフト面からの支援

ありたい姿(キーワード・テーマ)

情報インフラが整い、活用できる	・情報発信が足りておらず、必要な情報が必要な時にスマホなどで入手できない。外国籍などの日本の生活に不慣れな方なども含め、居心地よい生活を支えるための情報発信を増やしてほしい。また、子供たちの教育をよくするためには情報化を進めていく必要がある。
子育てしやすい	・子育てを交通・医療・教育といった制度面、子育て相談や交流といったソフト面を充実して子育てしやすい街になるとよい。
「遊び」がある	・八王子の自然を活かした遊び場、地域との交流。子供たちだけでも安全で安心できる遊び場が増えるとよい。

[意見のグルーピング]





【意見の集約】

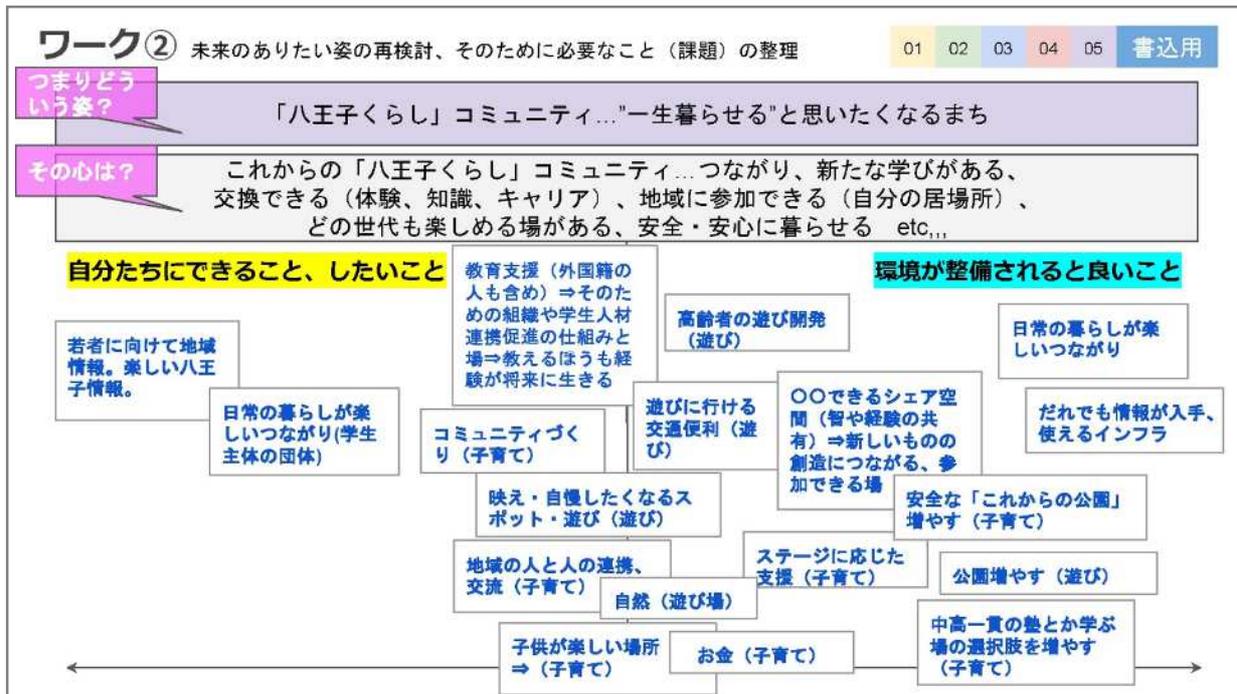
Dグループの集約テーマ

1. 情報インフラが整い、活用できる
2. 子育てしやすい
3. 「遊び」がある

【第2回】 未来のありたい姿の再検討と、その姿に近づくために必要なこと

ありたい姿の キーワード・テーマ	その姿に近づくために必要なこと 主な意見	「八王子に暮らしたい」と思えるために 「必要なこと」
情報インフラが整 い、活用できる	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書の充実、学校でのタブレット配布、高齢者が使いやすい機械など誰でもが使える、情報を入手できるインフラ整備 ・地域情報、楽しい八王子の発信 ・「映えスポット」をつくる 	
子育てしやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・生活費や養育費、医療、住宅などステージにあった切れ目ない支援 ・子育てのコミュニティづくりの促進 ・学習の場、学校の選択肢の充実 ・「子供が楽しい」場、公園を増やす ・外国籍の人などを含めた学習の場や人材連携・育成の場づくり 	
「遊び」がある	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子の自然の活用 ・〇〇できるシェア空間、創造につながる育成の場 ・遊びに行ける便利な交通手段 ・日常で楽しめる「つながり」や高齢者の遊び開発 	

ありたい姿
<p align="center">「八王子くらし」コミュニティ... “一生暮らせる”と思いたくなるまち</p> <p>「一生ここに暮らしたい、暮らしていける」と思える・思いたくなる八王子。 それを実現するのが『八王子くらしコミュニティ』。 八王子くらしコミュニティとは、八王子の自然環境など活用していきながら、つながり、新たな学び、交換(体験、知識、キャリア)できる場、参加(自分の居場所)できる機会、などがあるコミュニティのこと。 どの世代も、マイノリティの人もそれぞれの人が日常を楽しみ、安全・安心に暮らせる居場所があるということ。 そんな「居心地のよい街」に、八王子がなっていけばいいと考えている。</p>



大学生ワークショップの総括

大学生が八王子の未来のありたい姿として大切に思っていることについて、次のようにまとめました。

(1) 「豊かな自然」と「程よい都会」が共存する強みを活かす

八王子は都心のすぐ近くにありながら、「豊かな自然」と「程よい都会」の両方の魅力がある。八王子がもつ都会の利便性と自然の恵を同時に享受できる特別な場所であることを活かしたい。

自然は小中高生の成長の場や生涯学習の場など教育の場として活用したいと考えている。豊かな自然をフィールドとした学習活動や自然の中でのオンライン授業・リモートワーク、動植物と触れ合う体験を通して、悩みを抱える子どもを支援したり、自然を活かしたエンターテインメントを考案したい。また、程よい都会(マイルドな都会)として、住みやすさや居心地のよさを向上させていくことが必要と考えている。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・ITを活用して住みやすい環境づくり(利便性の向上、コミュニケーションの活発化)
- ・自然を活かして住みやすい環境づくり(リフレッシュできる公園、川沿いにベンチ・遊び場など)
- ・社会人や大学生など都会で暮らす人が、自然の中でリラックスできる空間づくり(カフェ、公園、ベンチ)
- ・オンライン授業、リモートワークしながら自然と触れ合える環境づくり
- ・自然と提携したエンターテインメントの考案
- ・緑の減少と公園の配置について再検討が必要

(2) 地域ビジネスの創出や地元で働きやすい環境を整える

八王子には多種多様な企業が立地していると同時に、都内でも農業が盛んなことに注目し、地域経済・地域産業の活発化や、八王子で働くことの視点があげられた。

特産品を活用した商品開発に大学生が関わり、新しい魅力や価値の創出を図ることや、市内産の食材を使った弁当を開発し企業や学校に届けるなど、地産地消のビジネスモデルづくり、「食」を通じて八王子の魅力発信や観光・MICEへの取り組みを行い、市外からの来訪・消費の拡大を図りたいと考えている。また、市内で新しい仕事が創出されたり、地元で仕事がしやすくなるために、地域内の交流や資源を活かした仕事につなげる場・仕組みづくり、働きやすいまちとして環境を整えていくことを望んでいる。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・地産地消を通じてビジネスを成り立たせると同時に、地域のコミュニケーションを深める
- ・「八王子弁当」等をつくって企業・MICEでも活用
- ・商品開発に学生が参画(名物料理、商品紹介のPOPづくり、パッケージデザイン等)
- ・大学生が広告塔になって、SNS等で写真を使って八王子野菜の良さをPR
- ・市内の企業や商店を盛り上げる地域広告を学生が作成し、話題性を高める
- ・リモートワークが増える中、通勤せず、地元で仕事しやすい環境づくり
- ・観光・MICEの取組のための環境・施設整備と市外からの来訪・消費の拡大を図る
- ・地域内の交流や資源を活かして仕事につなげる場・仕組みづくり
- ・高尾山などの自然を活用して宿泊観光やMICEの推進により、地域経済を活性化

(3) 地域と関わるための「参加しやすさ」、「一緒に楽しむ」仕組み・場をつくる

大学生は、地域の農産品を活用した商品開発や、地元の人が気づかない地域の魅力探しなど、学生ならではの視点で新しい魅力や価値を創り出し、魅力発信ができると考えており、大学と地域・企業との連携、地域活動に気軽に参加できる仕組み・場を求めている。

大学生が地域と関わりをもつためには、地域活動に気軽に参加できること、住民活動や多世代との交流と一緒に楽しむことができること、アイデアの提案、SNS等を用いた発信を担うなど地域の役に立つこと、などの地域活動に参加するための動機付けや機会づくりが必要と考えている。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・住民と一緒にあって地域の地域づくりに取り組む機会の拡大
地域課題の解決や地域資源の活用、地域の魅力発信
- ・大学と地域の連携
授業の一環で地域と連携して学ぶ。地域の人と学生の学び合いによるアイデアの実現
- ・地域の人と一緒に楽しむ(農業体験・食・イベント)
- ・地域人材、地域資源の情報集め、連携した取組の拡充
- ・地域活動に気軽に参加できる仕組み。入口は広く浅く、楽しく柔らかく
- ・地域や企業の課題や取組事例、ノウハウを共有できる仕組み
- ・いきいきサロン(市民)と大学コンソーシアム(大学生)が交流できる場づくり
- ・活動にふさわしい場所を市民に提供(駅前、公園等)

(4) 「八王子で暮らす」をブランド化する

どの世代もマイノリティも、それぞれの人が日常を楽しみ、安全・安心に暮らせる、「居心地が良く、誰もが一生ここで暮らしたいまち」を目指し、八王子の暮らし、働くことがステータスとなるような、「八王子で暮らす」ことをブランド化していく。

八王子の特性である自然を活用しながら、人と人との繋がりがあ、学びがある、知識や体験を交換できる、居場所がある、どの世代も楽しめる、居心地の良い場所がある、安全・安心に暮らせるようなコミュニティづくりを進めることで地域愛を醸成し、ここに住むことが誇りと思える八王子を目指す。外国籍の子どもへの学習支援、マイノリティへの制度整備・環境づくり、子育て・教育・医療・住宅など切れ目ない支援を行い、20年後には当たり前になっている社会でありたいと考えている。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・生活費や養育費、医療、住宅などステージにあった切れ目ない支援
- ・子育てコミュニティづくりの推進
- ・学習の場、学校の選択肢の充実
- ・外国籍の人などを含めた学習の場や人材連携・育成の場づくり
- ・「遊び」がある
- ・誰もが使える、情報を入手できるインフラ整備
- ・「八王子で暮らす」の映画製作。エンドロールに市民の名前
- ・どの世代もマイノリティも、それぞれの人が日常を楽しみ、安全・安心に暮らせる居場所を増やす
- ・「居心地のよい街 八王子」を目指す

■ 私（大学生）のわくわくワークシート

書いていただく内容に「良い/悪い」「正解/不正解」はありません。自分自身で思うことを自由にお書きください。

- 八王子市内（駅前、繁華街、住宅地、ニュータウン、丘陵地、高尾山や八王子城付近、大学の周辺地域など）を舞台として、あなたが思う“楽しく充実した理想の大学生活”を思い描いてください。
- いますぐ、現実的な実現は難しくとも、例えば20年後の大学生の生活ではどうでしょう。
- できるかどうかは別にして、夢や理想を自由にお書きください。

八王子市内や大学周辺地域を舞台として、こんな大学生活が送れたら最高に楽しい・・・

✓ あああ

ワークショップ当日（10月11日（日））は、ここで思い描いた内容を他の参加者に共有していただきますが、このシート自体は共有（投影等）しません。このシートは、ご自身のメモ代わりにお使いください。

また、当日は、この内容をもとに話し合いをしてもらいますので必ず当日までに検討し、当日は手元に準備しておくようお願いします。

⇒次のページもあります

■ なりきりわくわくワークシート

書いていただく内容に「良い/悪い」「正解/不正解」はありません。自分自身で思うことを自由にお書きください。

- 八王子市に暮らす人物像（大学生以外）を設定して、その人物になったつもりで、“八王子市での楽しく充実した理想の暮らし”を思い描いてください。
- 例えば、子ども、フレッシュマン世代、子育て世代、シニア世代などが考えられます。より想像力を働かせるために、具体的な年齢や職業、結婚の有無、子どもの有無、住んでいる場所、性格など、自由に設定してください。
- いますぐ、現実的な実現は難しくとも、例えば20年後の生活ではどうでしょう。
- できるかどうかは別にして、夢や理想を自由にお書きください。

設定した人物像

✓ あああ

その人物になりきると、八王子市でこんな生活が送れたら楽しい・・・

✓ あああ

ワークショップ当日（10月11日（日））は、ここで思い描いた内容を他の参加者に共有していただきますが、このシート自体は共有（投影等）しません。このシートは、ご自身のメモ代わりにお使いください。

また、当日は、この内容をもとに話し合いをしてもらいますので必ず当日までに検討し、当日は手元に準備しておくようお願いします。

■未来のありたい姿に近づくために必要なことを考えるワークシート

A01

※複数のテーマについて考えた場合は、スライド2枚目以降も使用してください

『八王子の未来のありたい姿』キーワード・テーマ
(第1回WSを振り返って設定してください)

ありたい姿を実現するために、何ができていないだろう？
(変えたいこと、新しくやること、環境が整うとよいこと・・・)

あああ

あああ

あああ

ありたい姿に関連して、今の現状や将来の状況を示すデータや事柄等で注目したこと

※ご紹介したデータだけでなく、自分で調べた内容でも構いません

あああ

あああ

環境が整備されるといいこと

あああ

自分たちができること

あああ

あああ

あああ

11/28(土)の夜までに入力してください！